

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(ハナブサ精機株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用条件で、差別しない体制を構築している。経営トップ及び幹部が積極的に関与している。研修の実施や相談窓口を開設している				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働は正のため、生産性の向上及び多様な働き方を許容している。基本的に残業時間はない体制である。							8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者を雇用していない。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			社内掲示板(Web上)で、労働安全衛生について周知徹底している。各委員会を設置し、毎月パトロール等を実施している。			3				8										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している。メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するため研修を実施している。ストレスチェックも実施している。		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できるように、人事評価制度を設けている。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職務や役割に応じた研修体制をとっている。各種研修の情報を提示している。			4	5.5		8	9										
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応をしている。				5.5			8.5		10.2 10.3								
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康経営優良法人認定(経済産業省)を2019年度より継続して取得している。			3			8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物種類量などを把握してファイリングし、適切に管理、処理している。														11.6	12.4		14.1
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	【予定】エネルギー・温室効果ガスの現状を把握し、使用量については社内掲示を行い社員全員が取り組むことを検討している。							7.3							13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握している。【予定】今後、削減するための取り組みを社内で検討し進めていく。							7.2 7.3							12.4	13.3		
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令にのっとり、有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。			3.9		6.3									11.6	12.4		

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した資材等の提供を通じて生物多様性保全に配慮している。																	15
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			工場の資源利用の削減、再利用を推進している。																12.5	14.1
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】使用量削減に向け、節水ノズルの導入等の計画を準備している。							6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		取得なし。自社で行える環境マネジメントに取り組んでいます。				3.9		6	7						12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	【予定】今後、HPに環境の取組情報を開示していく。															12.6		
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの利用に取り組んでいる。								7.2							13		
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			紙(木材)、原料、梱包材など必要なものを必要なだけ調達し余計な在庫は持たないようにしている。また、再生材の利用を優先して取り組んでいる。													12.2	13	14	15	
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含むことを就業規則に整備し、社内浸透を図っている。定期的に配置転換し、業務のオープン化を図っている。															16	16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】	不正競争行為を行わないよう社内全体会議で社員に周知している。【予定】今後、コンプライアンスマニュアルを策定する。																16	
公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本		【予定】	社内会議等で特許等の知的財産保護の重要性(真似しない真似させない)を周知している。【予定】今後CSR等にて作成していく。							8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			「個人情報に対する基本方針」を定めている。社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			自社製品の原材料のサプライチェーンを把握している。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組み状況の確認を行っている。					5		8	10	12	13	14	15	16	17			
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	2024年12月を目標に作成中			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1 1.1 1.2 1.3 1.4 1.5 1.6 1.7 1.8 1.9 1.10 1.11 1.12 1.13 1.14 1.15 1.16 1.17	2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 2.15 2.16 2.17	3 3.1 3.2 3.3 3.4 3.5 3.6 3.7 3.8 3.9 3.10 3.11 3.12 3.13 3.14 3.15 3.16 3.17	4 4.1 4.2 4.3 4.4 4.5 4.6 4.7 4.8 4.9 4.10 4.11 4.12 4.13 4.14 4.15 4.16 4.17	5 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8 5.9 5.10 5.11 5.12 5.13 5.14 5.15 5.16 5.17	6 6.1 6.2 6.3 6.4 6.5 6.6 6.7 6.8 6.9 6.10 6.11 6.12 6.13 6.14 6.15 6.16 6.17	7 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10 7.11 7.12 7.13 7.14 7.15 7.16 7.17	8 8.1 8.2 8.3 8.4 8.5 8.6 8.7 8.8 8.9 8.10 8.11 8.12 8.13 8.14 8.15 8.16 8.17	9 9.1 9.2 9.3 9.4 9.5 9.6 9.7 9.8 9.9 9.10 9.11 9.12 9.13 9.14 9.15 9.16 9.17	10 10.1 10.2 10.3 10.4 10.5 10.6 10.7 10.8 10.9 10.10 10.11 10.12 10.13 10.14 10.15 10.16 10.17	11 11.1 11.2 11.3 11.4 11.5 11.6 11.7 11.8 11.9 11.10 11.11 11.12 11.13 11.14 11.15 11.16 11.17	12 12.1 12.2 12.3 12.4 12.5 12.6 12.7 12.8 12.9 12.10 12.11 12.12 12.13 12.14 12.15 12.16 12.17	13 13.1 13.2 13.3 13.4 13.5 13.6 13.7 13.8 13.9 13.10 13.11 13.12 13.13 13.14 13.15 13.16 13.17	14 14.1 14.2 14.3 14.4 14.5 14.6 14.7 14.8 14.9 14.10 14.11 14.12 14.13 14.14 14.15 14.16 14.17	15 15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.6 15.7 15.8 15.9 15.10 15.11 15.12 15.13 15.14 15.15 15.16 15.17	16 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6 16.7 16.8 16.9 16.10 16.11 16.12 16.13 16.14 16.15 16.16 16.17	17 17.1 17.2 17.3 17.4 17.5 17.6 17.7 17.8 17.9 17.10 17.11 17.12 17.13 17.14 17.15 17.16 17.17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			品質管理部門及び出荷検査Gによる出荷前検査を徹底している。また、ユーザー様の安全確保のため、お取引先との間で定期的に仕様打ち合わせを実施している。				3.9							12.4						
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			品質を保証するための仕組み(品質保証マニュアル)を策定し、実施している。								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			お取引先との仕様打ち合わせを通じて製品の小型化等の原材料の削減に取り組んでいる。					6					12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】今後自然エネルギーやEV、FCV向けバーツ、水素社会に向けた分野でのバーツの製作を計画している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域との対話を常に意識し、事業の地域への影響を把握を行い改善に努めている。会社敷地内外の清掃を通じ地域環境の維持に努めている。				4					9	11	12		14	15	17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域のゴミ拾い活動を行っている。				4							11		14	15	17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			購入先には地元の企業を優先的に利用している。地産外商をしている。長野県SDGs登録企業を優先的に利用することを推進していく。								8	9	11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念を明文化している。経営目標など社員に説明し共有している。								8	9						17		
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		【予定】	法令順守について周知徹底をしている。人事評価制度の項目にも盛り込み徹底している。【予定】今後コンプライアンスマニュアルを策定予定。														16			
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			経営トップが中心となり、CSR担当が管理している。															16		
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、対応している。														16	17		
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			経営トップと総務が主となり、外部の助言も得ながらリスクを把握、分析し、保険の手当も含めリスクコントロールを行っている。														16			
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			健全な事業活動の下で地域での雇用創出、地域の活性化に貢献し、社会環境に配慮しながら責任ある企業活動を行っている。														16			
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			防災について定期的に訓練を実施している。事業継続計画(BCP)を策定済。								9	11	13	13.1			16			
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補を含めて、M&Aなどあらゆる選択肢を含めた中で事業承継を検討している。								8	9					17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定